

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課

担当課長名：中島 威夫

事業名	一般国道150号 <small>しみず</small> 清水バイパス		事業区分	一般国道	事業主体	静岡県
起終点	自：静岡県静岡市清水駒越 至：静岡県静岡市清水蛇塚			延長	4.2 km	
事業概要 国道150号は、静岡市から浜松市に至る延長約126kmの主要な幹線道路であり、県中西部の産業・経済を支え、地域の生活基盤としても重要な路線である。清水バイパスは、静岡市清水駒越周辺地域における慢性的な渋滞を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした延長4.2kmの4車線道路である。						
H6年度事業化	S61年度都市計画決定 (S63年度変更)	H6年度用地着手	H8年度工事着手			
全体事業費	約115億円	事業進捗率	74.8%	供用済延長	0.2 km	
計画交通量	20,100台/日					
費用対効果分析結果	B/C： (事業全体) 4.2 (残事業) 15.4	総費用： (残事業)/(事業全体) 31/120億円 事業費：23/112億円 維持管理費：8/8億円	総便益： (残事業)/(事業全体) 479/507億円 走行時間短縮便益：464/491億円 走行費用減少便益：-1/0億円 交通事故減少便益：16/15億円	基準年： 平成15年		
事業の効果等 ・物流効率化の支援（重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる） ・国土・地域ネットワークの構築（日常活動圏中心都市へのアクセス向上が見込まれる）他9項目に該当						
関係する地方公共団体等の意見 一般国道150号は地域交流の促進、交通混雑の緩和等に重要な役割を果たすことが期待されており、地元の静岡市より早期整備の要望（平施15年8月）を受けている。						
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 清水港を中心とした社会経済の発展や交流の活性化に伴い当路線への交通需要が高まっており、静岡市清水駒越地区周辺における交通渋滞は深刻化している。						
事業の進捗状況、残事業の内容等 平成10年に清水駒越交差点の改良を行った後も、用地買収、工事については順調に進んでいる。						
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 事業促進に対する地元要望は強く、用地買収の完了の目途が立ってきたことから、今後は工事の促進を図り、平成19年度には全線供用予定である。						
施設の構造や工法の変更等 構造物の築造にあたり、プレキャスト製品や再生材料の採用等、新技術・新工法を積極的に活用することにより、コスト縮減を図っている。						
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、当初からの事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図 <p>The map shows the project route starting from the '終' (End) at Shimizu Hebiizuka (静岡市清水蛇塚) and ending at the '起' (Start) at Shimizu Port (静岡市清水駒越). The total length is 4.2 km. A section of 0.2 km is marked as '暫定供用済' (Temporary completion). The route passes through Shizuoka City and crosses the '駒越交差点' (Komaishi Intersection). The map also shows the '清水海岸' (Shimizu Coast) and '清水港' (Shimizu Port). A legend indicates '供用中' (In use), '再評価箇所' (Re-evaluation area), and 'うち供用中' (Partially in use). A north arrow is also present.</p>						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。